

令和4年度生野区区政会議(第3回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日：令和5年3月16日(木)

場所：生野区役所6階 大会議室

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>色んな魅力がある、という話ではシェアサイクルなどで日帰りではなく、観光スポットを色んなコースでめぐってもらい、生野の魅力をアピールし、その中から住んでくれる人ができたら良いと思う。また、いわゆる社会的弱者の場があり、やさしいまちだと知ってもらえたら、今情報が届いていない「弱者」の方にも伝わっていくのではないかと。</p>	<p>生野区の様々な魅力を区の内外に知ってもらうために、まちの回遊性を高めることはとても効果的と考えています。そのためにも、様々なツールを用いて情報発信し、「伝わる広報」に努めてまいります。</p>
<p>防犯カメラの設置数を増やしてほしい。 シェアサイクルで自転車の交通が増えることが予想されるので、自転車事故が増えないように、安全安心の取組もお願いしたい。 防犯の取組として、高齢者への特殊詐欺非該当の防止に力を入れてもらいたい。</p>	<p>防犯カメラの設置につきましては、平成30年度までに防犯カメラ設置助成事業により125台を設置しており、加えて令和元年度から、おおむね5年間で区内に100台設置することとし、令和元年度に22台、令和2年度に30台、令和3年度に31台、令和4年度に19台の計102台の設置を完了しております。</p> <p>また、シェアサイクルによる自転車交通量の増につきましては、交通安全の出前講座の実施や、交通ルールや運転マナーの啓発動画などを区役所ホームページに掲載するほか、区役所1階での動画放映、大阪シティバスでの車内放送、オンデマンドバスでのデジタルサイネージ活用など、安全対策の啓発を行っています。</p> <p>多発している特殊詐欺被害の防止対策については、市民局事業である「大阪市特殊詐欺対策機器貸与事業」として、65歳以上の方がお住いの世帯に対して「自動通話録音機」を区役所窓口等で無料で貸与をしているほか、区役所で「振り込め詐欺防止手形電話機用POP」(電話に取り付ける啓発物品)を啓発物品として作成し、地域包括支援センターやケアマネージャー等に配布し啓発を行っていくなど、特殊詐欺被害等の防止に努めています。</p>
<p>空家対策について、近所の空家の跡が建売になるとすぐに入居されているので、進んでいる実感があるが、まだまだ空き家が多いので、引き続き取り組みを進めてもらいたい。空き家に若い世代の入居者が多いので、生野に住んで、他の区よりも子供を育てるメリットが明確にあればいいと思う。小中学生へのフォローが少し足りていないのかな、と感じるところがあり、周囲では私学へ行く小学生が増えている。学力を伸ばしたいということで私学進学されるのか、もしかすると生野の中学校に魅力を感じないのかな、と思っている。また、働き手が外に流出しないようなメリットも必要だと思う。</p>	<p>生野区では教育環境を充実するために、区における産官学と地域の連携を図り、学校ごとに異なる課題や特色に対応した多様性に富んだ質の良い教育支援ができる仕組みを構築し運用しています。</p> <p>未来を生き抜く力の育成の視点に立ち、これまでも取り組んでいた性・生教育やキャリア教育の講師派遣の充実を図るとともに、コロナ禍でも深い学びを目的としたプログラム提供の取り組みを行っているところです。</p>
<p>5月19日のいくのの日観劇イベントが再開されることになった。コロナで行事が中止になり、地域のつながりが希薄になった感じがあったが、催しが再開されてうれしい。</p>	<p>ここ数年コロナ禍で地域行事を含めてイベント開催が自粛されてきましたが、昨今は回復基調にある中、感染対策を講じたうえで、様々なイベントが開催されることは、あらためて地域コミュニティの醸成に寄与するものと考えています。</p>

ご提言(要約)	区のお考え方、対応(要約)
町会長をやっているのに、区役所からの情報を閲覧したり、掲示したりしているが、自分に関係ない、という意識が住民に強いのか、情報が伝わっていないように思うことが多い。行政からの情報に関心が薄いのでは、という気がする。	行政からの情報発信についても、区民の方に興味・関心を持っていただくようなコンテンツの充実や、必要な情報を、必要なときに、必要な方にお届けできるように工夫を重ねてまいります。
事務局からの説明で、シティプロモーションの項目があったが、自分たちの内部への情報伝達、インナープロモーションの取組もあっていいのかなと思いました。	
施策のブラッシュアップには、当事者の声をどれだけ拾えるかということが重要になる。広報に力が入っているところはよく見えるが、広聴機能の評価の観点も必要ではないか。広聴機能をどう強めていくかが重要だと思う。	よりよい区政を推進していくためには、施策の効果を検証し、ニーズを把握し、次の取組につなげていくというPDCAサイクルを意識する必要があります。区民の皆さまからのご意見などの広聴機能は其中でも重要なフェーズと認識しており、広報、広聴とも施策推進の両輪としてしっかりと取り組んでまいります。
上記はパブコメの件数が少ないことも関連があるかと思うが、非常に残念な結果である。確かに関心が薄いのだろうと思う。ビジョンなど行政の計画書は時間に余裕がないと、見たり意見を述べたりすることが難しいので、パブコメは行政側が積極的に集めに行かないと自発的には出てこなくなっている。今後、住民の意見を聞き取るための強化をしていただきたいと思う。	パブリックコメントの実施にあたっては、区政会議の委員の皆さまへの説明はもちろん、報道機関への提供をはじめ、区のホームページやSNSでの周知、区役所庁舎や関係機関窓口での配架をしてまいりました。引き続き多様な意見・ニーズを把握し、施策のPDCAサイクルに努めてまいります。
将来ビジョンや運営方針において、区役所の仕事のありかた、住民とどう協働していくのかについて、もっと見えてもいいのではないかと。外からは見えにくい。	区役所機能のあり方や住民の皆さまとの協働につきましては、当区の将来ビジョンや運営方針の後半にて一部言及しておりますが、詳しくは本市の市政改革プランに基づき進めているところです。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。
地域の防災訓練で、外国人の参加者を見たことがない。いざ発災した時に避難所に来て避難者も受け入れ側もパニックになるだろうので、避難所の案内板や備蓄倉庫にあるものを多言語化してほしい。	外国人への防災啓発について、広報いくの(令和4年6月号)でやさしい日本語並びに多言語での防災啓発を掲載するなど取組を進めております。外国人被災者への対応について、(公財)大阪国際交流センターと連携し、多言語指差しボード等を避難所で活用するほか、区で所有するIpadを活用した翻訳支援を行うこと等を想定しております。
古い家が多いが、建て替えるとすぐに人が入るので役所からも空家の建て替えなどに後押しがあればよい。自転車マナーについては、啓発だけではなかなか守られるようにならないので、商店街の出入口付近の空家に駐輪場をつくり、商店街に入れなくするなどしてはどうかと思う。	(防災防犯) 自転車マナーにつきましては、区役所ホームページで交通安全について掲載するとともに、商店街にご協力いただき、横断幕の掲出や放送による呼びかけなど安全対策の啓発を行っております。今後も、地域や生野警察署を連携し啓発に取り組んでまいります。
空家対策について、他都市で空家をリノベーションし、新婚世帯に貸すという事業を役所がやっているという事例を見た。そうした施策で空き家対策と若い世代の取り込みを図っている。生野区は外国人が多いので、新婚世帯への賃貸だけでなく、外国の食を体験できる飲食店を誘致してもいいと思う。そうすると観光スポットと飲食店の双方向から活性化が図られて、シェアサイクルの取組も活かされるのでは。	公民相互の連携を図り、区内の空き家の発生抑制や適切な管理、市場への流通及び各種利活用を促進することにより、空き家所有者の具体的なニーズに対応するとともに、空き家・空きスペースを有効利用したにぎわいの場づくりに取り組んでまいります。また、住民の移動利便性向上や万博など観光で来られる来訪者の回遊性向上などに資するよう、シェアサイクルの利用促進に取り組んでいるところであり、空き家対策と同様に地域の活性化とまちの魅力向上を図ってまいります。
要援護者名簿への掲載同意を得るために、地域を一緒に回ったが、とても手間暇がかかった。この資料を閲覧するには、敷居の高い手続きが必要になっていると認識しているが、活用の実態を知りたい。	(清水)名簿の閲覧・貸出は今年度13地域で実績があります。 (筋原)名簿の活用ということですが、発災時に援護に行く目的で作成されていますが、その時だけでなく、日ごろから顔の見える関係を作ることが大切だと感じています。モデル地域を設定して取組を開始していますので、今後全地域に取組を広げていくことになると思います。

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
アンケートの速報を見ていると、色々な課題に関して、結構ネガティブな印象を持っている回答が多いのかなと思う一方で、いくのの町に愛着がある人がとても多い。治安が悪いなどのイメージが先行しがちが、本当はそうではないと思う。この数年でいくののまちの魅力は勢いついていると思うが、この魅力を外へ発信してほしい。	ご意見のとおり、この度の区民アンケートによれば、区のに愛着をもたれている区民の方が相当数を占めていることから、生野区のに暮らしている方の満足度は決して悪くないものと認識しています。そういった愛着のあるまちを今後も外部へ発信し、広めていくことで、生野区のに魅力が内外に浸透していくように鋭意取り組んでまいります。
防災について、避難所開設訓練に参加し、まあまあ大変な作業だなと思った。しかしながら、避難所の開設や運営を役所がやってくれると思っている住民が多いのではないかと。地域で立ち上げて、地域で運営するということが必要があると思う。防災の取組として、各地域で避難所開設訓練をした方が良く思う。また、大阪市(危機管理室)の立ち上げ訓練サポートがなくなったと聞いたので、それなら区で独自に訓練のサポートに取り組んでもらえたら良いと思う。	災害時、行政による対応には限界があるため、地域の住民同士で助け合い行動する「共助」が被害を最小限にするために重要となります。そのため、避難所の開設や安否確認の方法、災害時の避難方法、防災無線など災害時に使用する各種機材の取り扱い方法の習得など様々な訓練を日ごろから実施することによって、地域の防災力を高めていくことが必要です。区役所では、地域の防災訓練において、例えば町会単位の実施など開催方法や内容について様々な支援を行っておりますので、防災担当までご相談くださいますようお願いいたします。
つい先日、空き家が倒壊する事案があったが、区役所には権限がないので何もできないと聞いた。法律がないことには対応は難しいのかなと思った。	(松村)長屋の一部倒壊する件があり、計画調整局が所管だが、人が立ち入らないようフェンスを設置した。基本的には私物なので、行政がすぐに手を出せないが、行政代執行を含めて対応を検討している。特定空家に関しては規定があり、持ち主を調べて区が勧告、計画調整局が命令を発したのちに代執行という流れになっている。
銭湯や多文化に対する直接的な予算があってもいいのと思う。どの分野の予算も減らされているのに、十分な取り組みができるのだろうか。	銭湯や多文化といったまちの特色を生野区の大魅力・地域資源として、引き続きまちづくりを進めてまいります。
巽公園の近くに住んでいる。公園付近の路上駐車のをもっと強められないのか。こどもが危ないので、警察にも話をしたがなかなか動いてもらえない。誰か犠牲が出ないと動いてもらえないのだろうか。犠牲が出る前に行政からの働きかけなどできないかなと思っている。	いただきましたご意見につきまして、交通管理者である生野警察署へお伝えさせていただきます。
生野区は、昼間にたくさん人がいる。コリアタウン、高校、学校にたくさん人が来るので、昼間の人口がすごく多くなる。毎日外国人と思われる人とすれ違うが、この人たちとあいさつできる関係作りができたらいいなと思う。小中学校と連携した教育のことをよく聞かすが、高校との連携はできないのか。多様な時間、多様な食、もっと夜も活性化していけば、ここで働く、店を出す、住むということにつながるだろうか。つながれば良いと思う。	生野区には、全国的な観光資源であるコリアタウンがあり、年間200万もの来場者があります。そのような地域資源を活かしながら、多様性をひとつのキーワードとして、まちに人が訪れ、暮らし、働くことで、より一層まちの活性化につながることを期待されます。学校との連携については、「生野区の子どもの学び」を継続的に支援するため、「IKUNO未来教育ネットワーク」を構築しています。IKUNO未来教育ネットワークには、区内の府立や私立の高等学校もご登録いただいております。機会に応じた連携を図っています。
地域から大学へ進学している人も多いため、生野区だけでなく他区の人でも、生野区に外国の人を助ける活躍の場ができれば、その人たちが来てくれて、住んでもらえるきっかけになるのでは。	当区のめざすまちの姿である「居場所と持ち場のあるまち」は、まさにそのような誰もが活躍の場があるまちであり、そうなることで生野区のに訪れ、住んで、住み続けたいまちとなるように引き続き施策を進めてまいります。
生野区で大きな事故が続いた。歩道が狭く、車が歩道に突っ込んでいる。時間帯がちょうど下校時刻とかぶっていたので、このような事故が起きた時に地域や先生が自主的に下校の安全確保に動けるまちになったらいいのと思った。	登下校時の見守り活動については、学校・地域・行政・警察等が連携し通学路の安全確保に努めています。今後につきましても、引き続き連携を取りながら安全確保に努めてまいります。
放置自転車を運ぶトラックをよく見るが、何度撤去されても同じ場所で自転車が放置されている。手数料2,500円で引き取れるそうなので、手数料が安すぎるのではないかと。いっそ即売却にしたらどうか。	いただきましたご意見につきまして、建設局へお伝えさせていただきます。
現在、認知症の独居高齢者で、一日中ろうそくを灯している方の案件を抱えている。何かあってからでは遅いが、地域の見守りでも限界があるので、どうしていくのが良いか悩んでいる。	日頃は見守り活動にご尽力いただき、ありがとうございます。具体的に気になるケースがございましたら、区役所高齢担当か、管轄の地域包括支援センターにご相談ください。

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
通学路の安全確保に力を入れてほしい。	通学路の安全対策につきましては、学校、警察、建設局、地域等と連携して実施可能な安全対策を検討してまいります。